



建設業

## 労災リスクをマッスルスーツ®で軽減！建設現場での重労働による作業員の負担を大幅軽減



**丸博野沢組**  
Maruhironozawa Co., Ltd

株式会社丸博野沢組  
(北海道勇払郡厚真町)

代表者 : 代表取締役 野澤 政博  
本社所在地 : 北海道勇払郡厚真町新町155番地  
設立 : 昭和48年  
営業内容 : 土木工事業



野澤 政博 氏  
代表取締役

### 北海道で地域貢献活動に注力する建設業者

「株式会社丸博野沢組」は、地域に根付いた中堅の土木建設会社です。創業以来「地域の繁栄に奉仕する」を合言葉に、地域の方々やお客様に貢献できる事を第一と考え、建設を通じて社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。同時に社内では「働き方改革」を積極的に推進し、従業員が長く働きやすい環境づくりに努めています。

一般的に建設業は重労働と敬遠されがちで、丸博野沢組でも随時ハローワークなどでスタッフを募集しているものの、なかなか人が集まらないという課題を抱えていました。また、現在の従業員50名程のうち半数は50～60代で、長年の力仕事で腰痛に悩んでいるという現状も何とか変えたいと考えていました。

### “労働災害リスク対策”のためマッスルスーツ®導入計画を立案

「業界特有の人手不足もあり、高齢の従業員に長く働いてもらうにはどうすればいいのか数年前から頭を悩ませていました。そんな時に偶然メディアに取り上げられているマッスルスーツ®を見て、これは建設現場でも使える！と閃きました。(代表 野澤氏)」2,3年前から検討を重ねて、「荷物の上げ下げや前傾姿勢での長時間労働による身体の負担軽減」「労働災害リスクの低減」のために2017年7月に3台のマッスルスーツ®の導入に至りました。

「現場にコンプレッサーを持ち込む必要がなく維持費がかからないことや、持ち運びが便利で修理も容易、カバーも洗濯が可能といった利点は導入の決め手の一部です。しかしやはり一番のポイントは、作業負担を大幅に軽減でき、従業員を守



地域の生活を支える企業を目指して。

「重労働から従業員の身体を守り労災リスクを軽減したいという理由からマッスルスーツ®を導入しましたが、それだけでなく作業効率も上がったことは副次的な効果です。身体を痛めて休む従業員が減りました。」

株式会社丸博野沢組 代表取締役 野澤 政博 氏

ってくれるアシストスーツというところ  
です。腰痛で週に一度痛通院している  
従業員からは、以前は腰をかばって  
作業していたが前傾姿勢での長時間作  
業も気にしなくなった、という嬉しい  
声もあります。(代表 野澤氏)

## 力仕事の強い味方に

導入当初、水道管敷設の工事現場で  
の使用デモンストレーションを実施し、  
作業員がスコップで土をならしたり重  
さ約5kgの園芸用の土を持ち上げたり  
しました。「長時間の作業が苦になら  
ない。(作業員 沢山氏)」「中腰姿  
勢で同じ作業を繰り返すと腰が痛むの  
だけど、これを着ているととても楽で  
す。(作業員 中森氏)」

また、災害復旧時にもマッスルスー  
ツ®は活躍しています。台風被害で  
2017年10月まで通行止めになってい  
た国道274号の日勝峠の復旧工事でも  
マッスルスーツ®を使用し、重たい鋼  
材運搬などに重宝しました。「腰痛に  
悩む従業員の負担を減らしたいとい  
う思いからマッスルスーツ®を導入しま  
したが、結果的には腰痛で仕事の手を  
止めることが減り、作業効率が上がっ

たという別の観点でも効果を実感して  
います。(代表 野澤氏)」

## 建設業界共通の課題解決に 活用が広がってほしい

株式会社丸博野沢組では、自社での  
マッスルスーツ使用に留まらず、建設  
工事の発注者となる北海道開発局や胆  
振総合振興局の関係者を対象に、デモ  
ンストレーション・体験会を実施し、  
腰に負担のかかる職種の人たちに幅広  
く機器を知ってもらうような活動も  
行っています。また、道内で建設現場  
でのアシストスーツの使用事例は初め  
てで、他都市の同業者から問い合わせ  
や視察依頼が来ています。

「働き方改革」推進における地域の  
中心として様々な活動を行っており、  
人材不足を軽減すべく2018年3月には  
3名の採用が決まっています。「人材  
不足を解消していくためにも、業界共  
通の課題である作業員の負担軽減に  
対しては対策を練っていく重要性がある。  
他の会社にもマッスルスーツ®のよう  
なアシストスーツの使用がどんどん広  
がってほしいと思います。(代表 野澤  
氏)」



前傾姿勢維持を伴うスコップでの作業にはマッスルスーツ®が効果的。



鉄筋を持ち上げ台車に載せる作業で、マッスルスーツ®を使用。前傾姿勢での重量物の持ち上げ作業は長時間続くという。この作業員の身体の負担を軽減する。

基	本	情	報
使用モデル	スタンドアロン(Fサイズ)		
導入時期	2017年7月		
台数	3台		
主な使用シーン	工事現場でのスコップ、災害復旧作業での重量物の運搬等		
時間帯	日中(約2時間)		
使用人数	約1-3名		
仕事環境	屋外の工事現場、雪掻き		



雪掻きでの使用の様子。



雪掻きは中腰維持での作業のため、身体への負担が大きい。マッスルスーツ®で負荷軽減を図る。



お問い合わせ  
株式会社イノフィス  
TEL: 03-5225-1083  
Email: support@innophys.jp  
Facebook: <https://www.facebook.com/innophys.jp/>  
詳しくは <https://innophys.jp/> をご覧ください。

生きている限り、自立した生活を実現したい

東京理科大学発ベンチャー  
～夢のようなロボットではなく、人のためのロボットを～

